

北イタリア安全対策情報 2019年4月～6月

1 治安情勢

ミラノの地下鉄内におけるスリ被害が多発したほか、ミラノ・マルペンサ空港等において、クレジットカードのすり替え盗難被害が発生した。

イタリア国内でテロの発生はなかったものの、4月1日、トリノ市役所で同市長宛の爆発物送付事案が発生した。また、治安機関は4月17日、モンツァ近郊において、テロ攻撃に向けた訓練を行った容疑でイタリア国籍等の男2名を拘束するなど、当地でのテロ対策は予断を許さない状況が続いている。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

地下鉄車両内でのスリ被害が非常に多く、特に20～30代の女性グループによる犯行が目立った。

（1）スリ 43件 （参考：1月～3月は36件）

ア 地下鉄電車内で、女性グループの1人に行き先等を訪ねられて、対応している隙に旅券等が擦られた。（複数）

イ 地下鉄構内（電車内）で、犯行を隠すために上着（ダウンコート等）を所持した犯人にバッグ内から旅券等を擦られた。（複数）

ウ 地下鉄乗車中に4、5人の女性に囲まれ、身動きがとれなくなった際に、キャリーケースにかけていたセカンドバッグ等が盗まれた。

エ 地下鉄電車内で、停車駅を確認するため路線マップを眺めていたところ、旅券等を擦られた。

オ ミラノ市中心街のカフェにおいて、カバンを足下に置いて注意していたが、近寄ってきた少女にカバン内から旅券を擦られた。

（2）置き引き 6件 （同4件）

ア フィレンツェミラノ間の長距離列車内の荷物棚に置いたバッグが盗まれた。

イ リナーテ空港のターンテーブルでスーツケースをピックアップとしようとした際、近くに置いたバッグが盗まれた。

（3）車上狙い 3件 （同2件）

ア マルペンサ空港のレンタカーパーキングで話しかけられた際、車内からバッグ等が盗まれた。（複数）

イ ニースーミラノ間の高速道路を運転中、犯人にパンクを指摘され、その確認中に車内からバッグを盗まれた。

（4）クレジットカードすり替え盗難 2件

マルペンサ空港において、犯人から国際電話利用のためのクレジットカード借用を懇願され、これに応じた際に被害者のクレジットカードと犯人手持ちの同種カードがすり替えられ盗まれた。その後、被害認知までの間に約100万円の被害が発生した。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人の被害認知なし。日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおり。

(1) 殺人

4月23日（火）

ミラノ市内のアパートにて、49歳の女性が刺殺された状態で発見。警察は現場から逃走した21歳の息子を逮捕し、捜査中。

(2) 強盗

6月27日（木）

深夜2時頃、ミラノ市地下鉄「ランプニャーノ」駅近くのスケートボード公園にて、被害者は30代アフリカ系男性に絞首、地面に叩き付けられた後に、割れた空き瓶をのど元に突きつけられ、財布を強奪された。

(3) 性犯罪

6月22日（土）

深夜、ミラノ市内ナビッリ地区路上にて、40代の英国人女性が友人と歩いていたところ、後方より掴まれ、地面に押しつけられた後に複数の男性のうち1名に強姦され、その際スマートフォンや指輪等を強奪された。

4 テロ・爆弾事件発生状況

4月1日、トリノ市庁舎の執務室宛に手製の紙封筒爆弾が送られ、当局は「爆発の可能性があった」と分析。トリノ市長は、本年2月11日に24年間不法占領されていた「Asilo」（当館注：元幼稚園が無政府主義的社会文化センターとして使用されていた。）から不法占拠者を退去させて以降、身辺警護を付けて警戒していた。治安当局は、爆弾の形状から無政府主義者による犯行と推測しており、捜査を開始。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

特になし

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし